



榎原

下郷町立榎原小学校
学校便り No.12
令和6年2月26日
文責：校長 國分 洋克

スキー教室

2月8日(木)の дайくらスキー場は、天候もよく、雪質もよく、絶好のスキー日和となり、子どもたちは楽しみながらスキー学習に取り組むことができました。

今年度から、スキー場のインストラクターの方に指導をお願いしました。子どもたち一人一人の力を見極め、個に応じた技術指導を行っていただきました。最初は、グレンデの下の方に設置されているエスカレーターのようなもので坂を上っていた1年生も、途中からはリフトに乗って上がり、滑って行くことができるようになりました。もちろん、他の学年の子どもたちも上達し、「上手になると、楽しくなります。」と、自らの成長を感じ取ることができた人も多かったようです。

インストラクターを依頼するということが、保護者の皆様にはご負担をおかけすることになりましたが、スキー技術の向上と、子どもたちの満足度を見ると、大変良かったと思っています。

スキー教室開催にあたり、用具の準備や学校へのスキーの搬入と持ち帰り、子どもたちへの励まし等、たくさんのご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

全校集会

2月14日(水)の全校集会校長講話では、次のようなことを子どもたちに話しました。

「3学期もだいたい半分が過ぎ、学校に来るのが、今日を含めて、あと26日となりました。自分で決めためあて、達成に向けて、その進み具合は、どうですか。

今日は、もう少しで一つ上の学年になるみなさんに、ますます頑張ってもらいたいことを3つお話しします。

一つ目は、優しい行いをすることです。

これまで何回か話をしている優しさの数字は大きくなっていますか。3学期がはじまって半分ですが、この間にも、優しさ溢れる場面を見ました。トイレのスリッパをきれいに並べている人、体育の授業のゲームで失敗をしてしまった友達に「大丈夫だよ」と声をかけている人、ならばらっ子の先生のお手伝いを進んで行った人、下級生をそりにのせて引っ張っている上級生、廊下に落ちていた教科書の持ち主を探そうとしている人。このような姿を見てとてもうれしくなりました。優しくした人は、もっともっと優しくしようと、優しくされた人は、次は自分が友だちに優しくしようと思うはず。そうやって優しさは広がっていきます。ぜひ、優しい行いをたくさんしてください。友達とのけんかが多い学校、意地悪な人がいる学校と優しい人がたくさんいる学校、みなさん、どちらの学校に行きたいですか。

二つ目は、勉強をがんばることです。今の学年で学んでいることは、一つ上の学年でも大切になってきます。だれでも不得意な勉強が一つや二つあるかと思いますが、自信を持って一つ上の学年になるためにも、苦手な勉強をがんばってみませんか。どうがんばればいいのか、いくつか方法はありますが、何といても、授業中、先生の話をよく聞くことです。何を話しているのかをがんばって聞くことです。ぜひ今日から取り組んでください。そのがんばりは必ず役に立ちます。それから、みなさんに勉強を教えてください先生はいつも教えることに真剣です。だから、みなさんも、真剣に授業に参加しなくてははいけません。

三つめは、感謝をすることです。この一年間、みなさんは、たくさんのいろいろな人や物に支えられてきました。助けられてきました。それらの人や物に感謝の気持ちを伝えてください。感謝の気持ちを持つだけでも素晴らしいことですが、ぜひ、その気持ちを表してほしいです。表す方法は、言葉や行動です。どんな言葉や行動なのかは、自分であるいは友だちと考えてみてください。」